

教育長に田淵氏が就任

このたび、町議会臨時会で教育長に承認いただき、就任しました田淵省二でございます。

長島町出身の私が、約40年前に長島を出る時に、教育長になって戻って来るとは、夢にも思いませんでした。「故郷は遠きに離れて思うもの」とは良く言ったもので、帰省するたびに、だんだん畑や美しい花ばなの町の景色に心を打たれていました。この、先人たちが残してきた「長島愛」をしっかり引き継いでいきます。

長島の子どもの未来のために、今まで培ってきた知識と経験を生かしながら、地域の一員として全力で本職に取り組み、学校と保護者、地域、関係機関と連携を強め、だんだん畑の石積みを積む様に、一歩ずつ確実に町の教育の土台を皆さんと一緒に創って行きたいと思っています。

皆さんのご協力を切にお願いいたします。

教育長
田淵 省二 (65)



こんなことをしています！こんなところでがんばっています！

地域おこし協力隊通信

長島町に宿泊学習生を招待

全国に2万8千人以上の生徒を有するインターネットの高校、N高等学校とS高等学校の生徒20人が、6月24日から27日までの4日間、長島大陸マングリンB A S Eを拠点に長島町の漁業を体験する宿泊学習を行いました。昨年11月に引き続き、地域おこし協力隊の渋谷日和さんが企画・運営を行い、長島町の漁業と食と人の魅力を存分に体験できるプログラムを実施しました。

町内事業者協力の下、ブリ養殖現場見学や船釣り、魚さばき、味噌づくりなど、都市部出身の高校生にとっては初めて見る景色や体験の詰まった4日間になりました。最終日には「若者が長島町に来たくなる動画」をテーマに1分間の魅力発信動画を作成。町長やお世話になった町民の前で発表しました。

参加した生徒は、「実際の漁業について間近で初めて見て、一次産業と二次産業の関係を知ることができた」「地域の協力体制や、つながりの深さ、それを継続する力を知れた」と振り返り、保護者からは「長島町で温かく受け入れていただきありがとうございます。子どもがいかに長島のブリがおいしかを力説していたので、我が家ではふるさと納税でブリを注文することにした。家族で長島町へ行ってみたい」とお礼の便りも寄せられました。

渋谷さんは「今回の企画・運営を通して、自分自身も町の仕事と暮らしの知らない側面を経験できた。移住1年目で感じた、皆さんの感動を他の若者にどうしたら味わってもらえるか、参加者が作成した動画からヒントを得ながら、秋の農業体験プログラムの生かしていきたい」と話しました。

